

山層雲峡 ビヅタセンター



【岩の上で瞑想するエゾナキウサギ／9月】

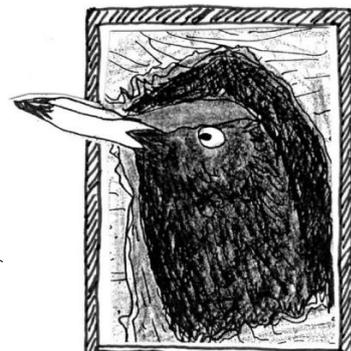
エゾナキウサギ

この時期、黒岳石室周辺の岩場では、エゾナキウサギが草木の葉を蓄える為、岩穴の貯食場まで一日に何度も往復する姿を見ることができます。春から夏にかけては、岩場でエゾナキウサギの鳴き声を耳にする事はあっても、姿を見ることはほとんどありません。

しかし、初秋頃からは貯食を始めるため、岩場周辺で頻繁に活動する姿を観察する事ができるようになります。ナキウサギは厳しい冬を乗り切るため、このような貯食行動を根雪になる11月頃まで続けます。



【クロマメの果実】



子ビターニュース
2010年9月29日(水)
発行/子ビター編集室
開館時間
6月~10月 8:00-17:30
11月~5月 9:00-17:00

大雪山で見られる

紅黄葉する樹木

大雪山では、8月下旬頃からウラジロマツツジが色づき、9月初旬にはウラジロナナカマドの紅葉が山の斜面を覆い尽くします。大雪山の紅葉は、標高により様々な樹木で構成され色どりも多様ですが、センターへの問い合わせの中では大雪山の紅葉の大半は、モミジと解釈している方も多いようです。一般的に大雪山や高い山などの紅葉のほとんどが、ウラジロナナカマドを指す場合が多く「紅葉もみじ」という単純なものではありません。そこで今回は、黒岳層雲峡周辺で見られる紅黄葉する代表的な樹木を標高に沿って紹介していきます。黒岳山頂(1984m)〜9合目では、ウラジロナナカマド、ウコンウツギなどが見られ、7合目(1600m周辺)では、ダケカンバ、オガラバナ、ミネカエデなどが混生して見られます。中腹部の5合目(1300m周辺)からはナナカマド、ウダイカンバが見られるようになり、温泉

街付近(700m)まで下りてくるとオヒヨウ、シナノキ、イタヤカエデ、ハウチワカエデ、カツラ、ヤチダモなど麓に下りてくるに連れ、色づく樹木も多くなります。

色鮮やかに紅葉する樹木ですが、色づく葉は大まかに3色に分けることができます。赤や橙に色づく葉を紅葉と呼び、黄色くなる葉を黄葉(おうよう)と呼びます。どちらも本来は「こうよう」と読みますが、同じ種類の木であっても赤くなったり、黄色くなったりすることもあります。これは気象条件や遺伝的要因が関係している事が多く、色の変化も様々です。多種多様な樹木の中から葉の形、色だけで見分けるには根気が要りそうですが、深まる秋をさらに楽しむ為、今年は一ツ上のレベルを目指してみませんか。まずは種類が多そうな黄色い葉の樹木より、比較的少ない赤い葉の樹木から覚えていく事をお勧めします。

今月の子ビターおは

エゾライチョウの夫婦です。

夫
今冬は温泉街で過ごそうか

妻
それもいいわね



黒岳〜層雲峡間で見られる紅黄葉する代表的な樹木の葉

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| ①ウラジロナナカマド
(赤〜橙色) | ②ダケカンバ
(黄〜黄褐色) | ③オガラバナ
(橙〜赤色) | ④ミネカエデ
(黄〜橙色) | ⑤ナナカマド
(赤〜橙色) |
|  |  |  |  |  |
| ⑥ウダイカンバ
(黄色) | ⑦オヒヨウ
(黄色) | ⑧イタヤカエデ
(黄色) | ⑨シナノキ
(黄色) | ⑩ハウチワカエデ
(赤〜橙色) |
|  |  |  |  |  |
| ⑪カツラ
(黄色) | ⑫シラカンバ
(黄色) | ⑬エゾヤマザクラ
(赤〜橙色) | ⑭ドロノキ
(黄〜黄褐色) | ⑮ミズナラ
(黄色) |
| | | | |  |
| | | | | ⑯ヤチダモ
(黄色) |

* () 内は一般的な色です



「2010年・大雪山紅葉」

日本一早い大雪山の紅葉も、今年に関しては平年と比べると1週間ほど遅れ、ここ10年では一番遅い紅葉となりました。この原因は猛暑の影響ともいわれ、大雪山周辺では紅葉の遅れだけでなく樹木への負担も心配されています。森林総合研究所によると、今年の夏は平年よりも気温が高く、太陽光も非常に強かったため葉の光合成機能がうまく働かない状態（人間でいうと日射病と同じ症状）となり、さらに9月になっても朝晩の冷え込みが少なかった事が主な原因とみられています。

大雪山の紅葉期前半は、色づき方もゆっくりで橙色の紅葉が多く見られましたが、9月中旬以降は冷え込みも平年並みとなり、深みのある紅葉が山の斜面に広がるようになりましたので、これから紅葉期後半となる10月の大雪山も色鮮やかな紅葉に期待が持てそうです。

ゆっくりと色づく 9月11日

黒岳山頂周辺では、ここ数日の低温でウラジロナナカマドの色づきも随分と進んできましたが、今のところ赤い葉のナナカマドは少なく、橙色の葉が多くを占めています。ナナカマド紅葉の色づきが進まない中、紅葉の主役はウラシマツツジの草紅葉となっており、山頂周辺では9月上旬頃から見ごろとなっています。



山頂周辺の紅葉は見頃 9月16日

9月中旬にもなると、朝晩の冷え込みも強くなりウラジロナナカマドの色づきも日が増すごとに進んできました。大雪山の高山帯では、色づき方が昨年より1週間ほど遅れていましたが、15日頃には見頃となりました。色づく速さはかなりゆっくりでしたが、ここにきて赤い葉のウラジロナナカマドも多く見られるようになりました。

山頂周辺の紅葉は最盛期 9月20日

山頂周辺のナナカマド紅葉も、18日を過ぎる頃にはほぼ最盛期となりました。ここ数日は朝晩の冷え込みも平年並みとなりウラジロナナカマドの色づきも深みのある赤が全体的に広がってきました。しかし最低気温が5℃を下回るようになると、一部のウラジロナナカマドの落葉も目立つようになってきました。



大雪山初雪・初冠雪 9月22日

22日、午前5時頃に黒岳石室周辺で、昨年より13日遅い初雪を観測しました。降雪時の気温は-3℃と、かなり冷え込み、石室前の地面は一時、雪で覆われました。また同日に旭川気象台では初冠雪も観測。初冠雪は平年と比べ2日早く、昨年と比べ10日遅くなりました。雲ノ平周辺のウラジロナナカマドは、降雪の影響でほとんどが落葉してきました。



【日時】10月2日～10月12日

13:30～15:30



折って切って開いたら、あらすテキ♪
子供から大人まで楽しめます。

参加自由・無料/申し込みは不要です

■ 季節の自然散策



【日時】10月の毎週日曜日

9:00～12:00

【内容】紅葉の季節、層雲峡周辺の身近な自然を案内いたします。

【募集】各回5名

【集合】層雲峡ビジターセンター

【持ち物】歩きやすい装備、飲み物

いきものカレンダー

- 7/4エゾツツジ・コマクサ(赤)、7/5ヘイケボタル(上)、7/10エゾライチョウ親子(層)、7/11ヒグマ(層)、7/12アオバト(上)、7/16ギンザンマシコつがい(黒)、7/17ミヤマクワガタ、アカアシクワガタ(層)、7/20アカアカネ大発生(上)、7/23アオノツガザクラ(赤)、7/29ミヤマカラスアゲハ大発生(上)、7/31コエゾゼミ・キアゲハ(上)、8/1キリギリス(上)、8/2ウソクモマベニヒカゲ・ウスバキチョウ(赤)、8/3オニクワガタ(層)、8/10オオミドリジミ(上)、8/15チョウゲンボウ(黒)、8/17ウサギギク・コガネギク(赤)、8/18クマゲラ(上)、8/21シマリス、コギツネ(愛山溪)、8/24集中豪雨(高)、8/27石室午前6時で3℃(黒)、8/28第4雪溪のナナカマド一部紅葉(赤)、9/3クロマメ・コケモモの実熟す(赤)、9/5アオダイショウ(層)、9/9最低気温4度(層)、9/12エゾナキウサギ(黒)、9/15黒岳石室周辺の紅葉見頃(黒)、9/18ヒグマ(黒)、(上)、9/20銀泉台の紅葉見頃、9/22大雪山初雪・初冠雪・黒岳石室の気温-3℃、9/26ホシガラス・黒岳5合目降雪(黒) * 観察地: 上川(上)・層雲峡(層)・黒岳(黒)・赤岳(赤)・高原沼(高)

★★観察会は事前申し込みが必要です★★

★★詳細についてはお問合せください★★

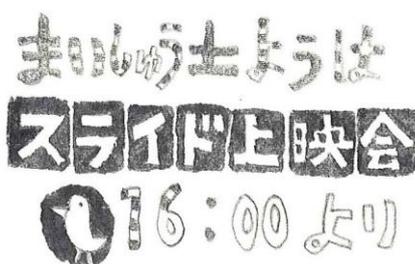
■ 2009大雪山フィールドノート

～写真展～

【日時】常時展示

【内容】一年を通じた大雪山のありのままの姿を写真と解説文で紹介する。

【場所】ビジターセンターレクチャールーム



遊びに来て
よす。

発行: 大雪山国立公園



Tel 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

HP アドレス <http://sounkyovc.town.kamikawa.hokkaido.jp/>

開館時間 6月～10月/8:00～17:30無休・入館無料

11月～ 5月/9:00～17:00月休(祝祭日翌日)